

地獄絵図を再現

虫生広濟寺

鬼来迎

因果応報、勸善懲惡を説く古典的地獄劇の鬼来迎は、鎌倉時代にはじまり、およそ800年の伝統があるとされています。今年も地獄の釜が開くと言われる8月16日、虫生地区広濟寺で地元鬼来迎保存会により上演され、大勢の観客が、全国でも珍しい仏教劇を食い入るように見つめました。

また、上演前には、鬼婆に抱かれた子どもは健康に育つと言い伝えのある「虫封じ」が行われ、境内に赤ちゃんの大きな泣き声が響き渡りました。



大序



虫封じ



釜入れ



賽の河原



死出の山

夏祭りをしよう

子育て支援なかよし広場

8月5日、子育て支援センター横芝で「夏祭りをしよう」が開催されました。親子約70組が参加し、金魚すくいやくじ引きなど親子で夏祭りの雰囲気を楽しみ、最後には手作りのお神輿をみんなで担いで楽しい夏のひと時になりました。



7月30日、屋形海岸の砂浜で、町観光協会主催の「観光地引網体験」が開催されました。子どもから大人まで約千人が参加し、元気よく網を引きました。当日は大漁で、イワシ、コハダなど、みなさん袋いっぱいを持ち帰りました。

観光地引網体験

養護老人ホーム光楽園納涼会

8月6日、養護老人ホーム光楽園で納涼会が開催されました。今年の納涼会は、中台神楽保存会のご協力により、伝統行事の梯子獅子を披露していただきました。梯子の上で勇壮に舞う獅子の妙技に、大きな拍手が起こりました。



お詫びと訂正

広報8月号10ページに掲載の「光楽園もちつき大会」タイトルの施設名称に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

誤→特別養護老人ホーム光楽園

正→養護老人ホーム光楽園